

◆高木真理委員 民主党・無所属の会の高木真理です。

議案第 1 号「平成 24 年度埼玉県一般会計予算」について、会派を代表して賛成の立場から討論させていただきます。

来年度については、厳しい経済環境の中、前年度比 0.7%減の規模の予算編成となりましたが、エコタウン、ウーマノミクス、健康長寿の 3 分野に重点配分がなされています。限られた財源の中で、時代に先駆けた取組を埼玉から発信するという意気込みの下、苦しい中で未来への種をまく予算となっていることを評価したいと思います。

また、昨年 3.11 以降、対策の見直しと強化が必要になっている防災の分野において、緊急輸送路の機能確保対策をはじめ、多くの施策を講じる予算となっており、今正に対応すべき課題に対応する予算となっていると思います。

また、海外にチャレンジする若者の育成や海外進出を検討する企業の支援を積極的に行っていく施策にも期待できます。

そして、こうした前向きな政策展開の中で、職員数の削減を来年度にも行うなど行財政改革の取組も行われており、この点も評価したいと思います。

しかし、一方、全体の財政を見渡した際に、債務残高が毎年増え続けている点が懸念されます。県独自の債務については減少の努力がなされているものの、臨時財政対策債の増加については国との間の構造的な問題による部分が大きいとはいえ、注意深い対応が必要と考えます。

また、公共施設の在り方については、今後大量の更新期を迎えて多額の費用が必要となることから、改めて機能を見直し、本当に必要な要素について効率的な運営を目指していただきたいと思います。

なお、さいたま新都心への医療拠点整備に関しては、これまで都内への依存が高く、不安定であった総合周産期医療の分野が強化される内容であり、今後の本県の全県長期的な医療の在り方にとって価値ある判断と評価します。しかし、一方で、現在重度の障害を抱えて現センターに通われている皆さんが命の心配をしておられ、対応が求められています。知事より、何らかの機能を残す、個々の事例を伺う中で検討するといった旨の趣旨の発言があったので、しっかりとお答えをいただかなければならないと考えます。

以上をもちまして、議案第 1 号に対する賛成討論といたします。